

報道関係者 各位

2021年7月28日



グリーンインフラ活用に関する社会実験「グリーンインフラ DX プロジェクト」を開始

京都産業大学(本部:京都府京都市、学長 黒坂光)、株式会社バイオーム(本社:京都府京都市、代表取締役 藤木庄五郎)、東邦レオ株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長 吉川稔)、株式会社福山コンサルタント(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長 福島宏治)は、合同で“デジタル技術を用いたグリーンインフラ活用・モニタリングシステム構築に関するプロジェクト”「グリーンインフラ DX プロジェクト」を開始しました。

概要は以下のとおりです。

【プロジェクト概要】

- ・2021年6月7日、産学連携による“デジタル技術を活用したグリーンインフラ活用・モニタリングシステム構築に関するプロジェクト”「グリーンインフラ DX プロジェクト」を開始しました。
- ・プロジェクトの第1弾として、“いきもの”コレクションアプリ「バイオーム」(AI技術による種判別可能な生物調査アプリ。別紙 参考1)を用いて全国のグリーンインフラに関する市民参加型の生物調査を実施します。
【期間:2021年7月28日(水)~9月28日(火)】(別紙 参考2)
- ・得られた結果を分析し、グリーンインフラの指標となるいきもの分布のビックデータを活用したグリーンインフラの整備適地の把握や、グリーンインフラの機能評価等、グリーンインフラのDX化を進める仕組みを検討します。

【今後の展開】

本プロジェクトを通じて、グリーンインフラの普及啓発を進めながら、デジタル技術の活用により地域に散在するグリーンインフラのポテンシャルを分析し、グリーンインフラの普及、社会実装を目指します。

【他プロジェクトとの連携】

本取り組みは、茨城県守谷市で進行中の「国土交通省スマートシティモデル事業:グリーンインフラ×スマートシティ 自然共生型スマートシティモデル事業」と連携して実施します。茨城県守谷市内では、バイオームによるいきもの調査活動への参加市民に対するインセンティブとして、地産地消の食品購入等のエシカルなサービスに利用可能な地域通貨ポイントを付与する実証実験を行います。(別紙 参考3)

※関連サイト

①バイオーム

<https://biome.co.jp/>

②守谷市 スマートシティ

<https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/green/greeninfr-smartcity.html>

【当事者の概要】

名称:京都産業大学

所在地:京都府京都市北区上賀茂本山

代表者:学長 黒坂 光

設立年月日:1965年4月1日

ホームページ:<https://www.kyoto-su.ac.jp/>

名称:株式会社バイオーム

所在地:京都府京都市下京区中堂寺南町134番ASTEMビル8階

代表者:代表取締役 藤木 庄五郎

事業内容:生物情報アプリ開発・運営、生物情報システムの提供

資本金:111.5百万円(準備金含む)

設立年月日:2017年5月31日

ホームページ:<https://biome.co.jp>

名称:東邦レオ株式会社

所在地:大阪府大阪市中央区上町一丁目1番28号

代表者名:代表取締役社長 吉川 稔

事業内容:特殊建築材料の製造及び販売、施工/緑化資材の製造販売、土壌環境調査及びコンサルタント業務

資本金:96百万円

設立年月日:1965年1月23日

ホームページ:<https://www.toho-leo.co.jp/>

名称:株式会社福山コンサルタント

所在地:福岡圏福岡市博多区博多駅東三丁目6番18号

代表者名:代表取締役社長 福島 宏治

事業内容:建設コンサルタント(道路、都市、橋梁、鉄道等における調査、計画、設計、維持管理、施工管理)

資本金:400百万円

設立年月日:1963年11月6日

ホームページ:<https://www.fukuyamaconsul.co.jp/>

◇ 本プレスリリースに関するお問い合わせ先

京都産業大学

広報部 TEL:075-705-1411、Email: kouhou-bu@star.kyoto-su.ac.jp

株式会社バイオーム

担当者名:多賀洋輝:TEL:075-432-7622、Email: info@biome.co.jp

東邦レオ株式会社

担当者名:久米昌彦:TEL:06-6767-1110、Email: kume@toho-leo.co.jp

株式会社福山コンサルタント

担当者名:白土智子:TEL:03-5296-9405、Email: shiratsuchi@fukuyamaconsul.co.jp

参考1:いきものコレクションアプリ バイオームとは？

"いきもの"コレクションアプリ
バイオーム

現実世界(リアル)はゲームよりも面白い
出会った**"いきもの"**を集めて世界を冒険する
コレクションアプリ
"いきもの"に関する全ての知をあなたに

"いきもの"図鑑
"いきもの"
全種コンプリートを目指せ!

さあ、出かけよう!!

"いきもの"の世界へ!!

"いきもの"判定
写真を送るだけで
"いきもの"の
名前が分かる!

"いきもの"地図
いつでもどんな
"いきもの"が
いたのかを知る!

"いきもの"クエスト
みんなで
"いきもの"イベントを
楽しむ!

"いきもの"タイムライン
みんなと"いきもの"に
まつわる情報を
交換する!

参考2:“グリーンインフラ指標生物調査”で実施するクエスト

1.「じめじめ」植物からグリーンインフラのタネを探そう

■湿った場所に生える湿地の植物を探そう!

このクエストでは、水の多い場所を好む「じめじめ」植物を対象としています。

実は、今は都市化されていても、もとは水の集まるじめじめした環境だった場所がたくさんあります。その名残で、街中でも水の多い環境で見られる植物が生育していることがあります。そうした場所は地形的に雨水が集まりやすい空間なので、レインガーデンなどのグリーンインフラを導入できる可能性があると考えられます。

「じめじめ」植物を手掛かりに、グリーンインフラに適した場所を探してみましょう!



じめじめ植物から
グリーンインフラ
のタネ探し

2.あの公園もグリーンインフラ?

■公園でいきもの調査

このクエストではグリーンインフラがもつ「様々な機能」に着目し、もっとも身近なグリーンインフラの一つと言える「公園」を舞台に生きものを調査します。

公園に生えている植物は様々です。植物には木陰をつくりやすいもの、成長が早いもの、花を咲かせるもの、おいしい実がなるもの、防災に役立つものなど様々な機能や特徴があります。さらに、植物の種類によって、やってくる動物も違ってきます。

公園にどんな植物が生えていて、その周りでどんな動物が見られたのか記録してみてください。公園ごとの生物の種類を比較することで、地域の特徴にあったグリーンインフラの理想像が見えてくるはずです。



※本クエストの作成においては、国立環境研究所 西廣淳先生にご協力いただきました。

AI Moriya

ねんれんぞく かいめ
4年連続4回目にしてリニューアル!!
だいいき さいたいいんぱしゅうちゅう
第4期 隊員募集中!!

ちよう さ たい なつ けっせい
いきもの調査隊 2021 夏 結成!!

～いきものコレクションアプリを使って守谷のいきものを探してみよう!～



さいたい えんぷん
2つのクエストをクリアして最大5,000円分
のMoriya green pointをGET!!

- クエストはこちら!
- ▶ 「じめじめ」植物からグリーンインフラのタネを探そう!
 - ▶ あの公園もグリーンインフラ?

※イベント参加への事前登録が必要です。ウラ面をご参照ください※

※Moriya green pointとは、もりやコレクション（守谷市中央 4-9TX 守谷駅 1階）、みずき野ひろば（守谷市みずき野 5-3-1）でお買い物ができるポイントです。

※Moriya green pointはイベント期間終了後に配布します。

配布ポイント数は達成者の人数で決定します。（最大5,000円分予定）

ねん がつ にち がつ にち
2021年7月28日（水）から9月28日（火）

いきものコレクションアプリ「バイオーム」を活用した

いきもの調査イベントを実施します。

ちさんちしろう た こうかん
地産地消のおいしい食べものに交換できます。

おやこ みちが ちようせ
親子で身近にいるいきものたちを調査してみませんか？